

## プリにおける発展と教育のためのキリスト教機関 (CODE)

ニュースレター2022年2月

敬愛する里親の皆さま

プリ・キンダーガルテンスクールと発展と、教育のためのキリスト教機関 (CODE) の運営委員会、教職員、愛する生徒一同を代表して、2022年が皆様とご家族、そして皆さんの教会に集う会衆の皆さんにとって素晴らしい年となりますようにと願い、この新しい年が平安、喜び、繁栄をもたらすものでありますようにとお祈り申し上げます。

まずは、このようなコロナのパンデミックによる試練が2年間も続いている中においても、わたしたちの教育機関、そしてその働きと活動に関わるすべての人々が、政府から出されたコロナウイルス感染症予防ガイドラインを遵守しつつ、クリスマスと新年をお祝いすることが出来たことを神に感謝したいと思います。

皆さんがよくご存じのように、このお祝いにはそれなりの理由があります。何故ならば、わたしたちの家族、友人、知人の多くが倒れる中で、幸運にも私たちが新型コロナウイルスの猛攻のサバイバーとなったからです。わたしたちがお祝いしたのは理由があります。それは、神がわたしたちを悲しみの内にある人々のための慰めを、また困窮の人々には助けを、そして不運な人々には希望をもたらす器として用いて下さったからです。わたしたちが喜ぶのには理由があります。それは、このような厳しい状況下において、わたしたちの機関が出来うる最大限の配慮と献身をもって、その働きを継続することが出来たからです。

敬愛する里親の皆さん、そして友人である日本のバプテスト教会の皆さんが、この度の新型コロナウイルス感染拡大時に貧しく助けを必要とする方々の感染予防のために石鹸、タオル、マスクを献品して下さり、心から感謝を申し上げます。また、日雇い労働をされている方々で仕事も収入も無くなり困窮していた方々と、その家族のために食料品を配布することが出来るように支援して下さった友人たちに感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスが世界中に感染拡大して以来、わたしたちの生活は、もう元には戻れないほどに変わってしまいました。バーチャルなものが、わたしたちの生活において現実となりつつあります。親しい人たちと距離をとるように強いられ、新しい事柄を急いで学んで、行動様式や習慣を変えることを余儀なくされました。孤立や制限は、わたしたちの精神面、心理面での、いわゆるメンタル・ヘルスにも悪影響を及ぼすに至りました。多くの人が職を失い、ある人は失職により甚大な経済的損失を被り苦境に立たされました。

親しい方々の突然の死に際しては、まともなお別れをすることや、悲しみの中にある遺族と悲しみを分かち合うことが出来ずにきました。このような不確かな時の中で、CODE は里親の皆さんお一人おひとりと、ご協力下さっている皆さんの上に神の守りとご配慮があるようにと祈って来ました。インドでは、ほとんどの地域で通常の生活が戻りつつあります。そのような中であって、

わたしたちは、数年のうちに平穏で喜びに満ちた生活がパンデミックに取って代わるようにと祈っています。

### プリ・キンダーガルテンスクールの活動

皆さんがご承知のように、新型コロナウイルスの影響を受け多くの学校は通常の状態に完全に戻ることは出来ていません。このような事情により、わたしたちの学校でも一日ごとの生徒の出席人数に制限を設け少人数で子どもたちを受け入れています。

### 共和国記念日

インドの共和国記念日を憶え、1月26日プリ・キンダーガルテンスクールでお祝いの時をもちました。新型コロナウイルス感染拡大のため教職員のみでの出席となりました。S.K.モハンティ牧師による国旗掲揚に引き続き国歌斉唱が行われ、続いて同牧師により共和国記念日を祝う意義とインド憲法が制定された日に想いをはせるスピーチがありました。式典後、全教職員に軽食がふるまわれました。式典の挙行には、ソーシャルディスタンス、マスク着用、消毒などの厳格な対策をもって臨みました。

### マスク、石鹸、タオルの無料配布

パンデミックの期間中、プリ・キンダーガルテンスクールの生徒たちは、新型コロナウイルス第2波の感染予防のための訓練を受けました。生徒の保護者には、家庭内感染を防ぐために自分の子どもたちだけでなく、家族の他のメンバーにも、今まで以上に気をつけてもらい、外出時にはマスクを着用し、手洗いを心がけるようにと、協力をお願いしました。協力を実行していただくために、2021年3月16日にわたしたちは学校の保護者を対象としたマスク、石鹸、タオルの無料配布を学校のキャンパスで行いました。感染拡大第2波がより厳しくなったのは、多くの貧しい人々が経済的困窮状態に陥り、マスク、石鹸、タオルなど感染から身を守る物を買うことも出来ない状態になりました。わたしたちは、これらの人々にも石鹸、ハンドタオル、マスク配布をしました。配布の際には適切なソーシャルディスタンスが取られ、すべてが定められた「標準業務手続き」に従ってなされました。

### 独立記念日

2021年8月15日に、インドの独立記念日をプリ・キンダーガルテンスクールで祝いました。新型コロナウイルス第2波時期でしたので、教職員のみがこの式典に出席しました。国旗掲揚がなされ教職員に軽食が振る舞われました。ソーシャル・ディスタンスを取り、マスク着用、消毒など厳しい感染対策を取りながらこのお祝いの時をもちました。再度のマスク、石鹸、タオルの無料配布、感染拡大の第3波の時期にプリ・キンダーガルテンスクールの生徒たちは適切な感染防止対策を学んだことを前に紹介しましたが、マスクやハンドタオルはそれまで半年の間使用され、だいぶ使い古された状態でしたので、里親の皆さんや日本のバプテスト教会の皆さんから送っていただいていたマスク、石鹸、タオルを再度生徒たちに配布し第2波の間も生徒たちの感染防止に役立てることが出来ました。この配布活動にも、適切なソーシャルディスタンス、「標準業務手続き」がすべて遵守されました。

## 衣類とマスクの無料配布

第2波の時期は大変厳しく、全国で一斉にロックダウンが行われ、プリ・キンダーガルテンスクールの保護者も深刻な経済危機の状態に陥りました。子どもたちのために服さえ購入出来ない状況でしたので、2021年11月22日に生徒全員に衣服とマスクの無料配布を行いました。この配布の際にも適切なソーシャルディスタンス、「標準業務手続き」のすべてが遵守されました。

## クリスマスのお祝い

第2波の時期は学校ではクリスマスのお祝いの行事は行いませんでした。しかし、校庭でサンタクロースによってクリスマスプレゼントとキャンディーが生徒全員に手渡されました。生徒たちは保護者と一緒にプレゼントを受け取りに集まり、大変喜んでいました。配布の際には適切なソーシャルディスタンス、「標準業務手続き」がすべて遵守されました。

このニュースレターを閉じるにあたり、里親の皆さんお一人おひとり、祈りのパートナー、そして日本バプテスト女性連合の姉妹らが新型コロナウイルス感染拡大で経済的に困難な中にあっても、わたしたちの働きを覚えて祈り、支援を続けて下さっていることに改めて感謝を申し上げます。パンデミックは未だ終わっていませんがインドでは収束に向かいつつあります。しかし多くの国では未だ厳しい状況にありますから、わたしたちはその国々の方々を覚えて祈っています。また、戦争により苦しめられている子どもたちの為にも憶えて祈っています。

皆さんのお知り合いで「プリ里親の会」に加わり、プリ・キンダーガルテンスクールの働きに繋がってくださる方をご存知でしたら、どうぞプリ里親の会代表の松本素代美さん

(〒852-8132 長崎市扇町 28-18 電話 090-7925-3703

メール taiyo-hoshi@tune.ocn.ne.jp) まで、ご連絡をお願いいたします。

こちらの子どもたちはとても元気にしています。皆さんにくれぐれもよろしくとのこと。神が皆さんとご家族を祝福してくださいますように。

ディレクター

S. K. モハンティ



**Morning Exercise**



**Games Class**



**Clothes Distribution**



**Breakfast**



**Rhymes Class**



**Clothes Distribution**



**Study Time**



**Mask and General Dress Distribution**



**Games Time**



**Music Class**



**Teaching Handwash**



**Study time**



**Games Time**



**New General Dress Distribution**



**Multimedia Class**



**Republic Day Flag Hoisting**



**Christmas Gift Distribution**



**Christmas Gift Distribution**



**Christmas Gift Distribution**



**Christmas Gift Distribution**



**Christmas Gift Distribution**



**Christmas Gift Distribution**



**Christmas Gift Distribution**